

○算数の授業のクラス分けの目的と願い

今週から、学年全体で再びクラス分けをして算数の授業を行っています。クラス分けは、みんなでコースと一人でコースです。

みんなでコース・・・みんなと一緒に学んでいきたい人
一人でコース・・・どんどん問題を解いていきたい人

算数の学習でクラス分けをする目的は以下の3点です。

1. 自分の学び方に合ったクラスで学習することでより効率よく学習する
2. セルフラーニングができる主体的な学習者になってほしい
3. 同じ学び方を望んでいる子どもたちに対してより教育効果が高いものを提供できる

クラスの選択は、子どもたちがアンケートで自分たちで選びました。どのような形で学ぶのか子どもたち自身で自己調整しています。

中学校や高校に行くと、自分で学習を進める力、主体的に学習する力がより一層求められます。主体的な学習者になってほしいと思います。



【先生や仲間と一緒に取り組むみんなでコース】



【自分で学習を進める一人でコース】

また、一人でコースは問題をどんどん解き進めるので、授業の最後で算数的思考力を問う問題に取り組んでいます。（実際に子どもたちが解いた問題を次ページにのせます）

○時刻と時間の学習について

今算数で時刻と時間の学習をしています。指導事項は以下のとおりです。

- ・ 時刻と時間の違い 時刻・・・○時○分 何時何分のこと
時間・・・○時間○分 時刻と時刻の間
- ・ 長い針の1目盛りが1分 ・ 長い針が1まわりすると1時間
- ・ 1時間は60分 ・ 午前と午後と正午の意味
- ・ 午前は12時間、午後は12時間、1日は24時間

☆間違えやすいポイント

1. 時刻と時間を間違えて答えている

よくある誤答例 午前は何時間でしよう。

誤 12時
正 12時間

2. 午前・午後をつけ忘れる

よくある誤答例 学校が始まる時間は何時でしよう。

誤 9時
正 午前9時

3. 前と後が理解しにくい

今は午前10時15分です。次の時刻をいみましょう。

- ① 30分前 ② 30分後 ③ 1時間後

※前は時計を戻す=反時計回りに動かす。後は時計を進める=時計回りに動かす。ということが理解しにくい。

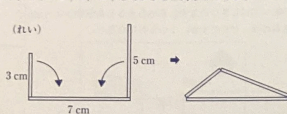
このように、時計の問題にはいくつかのつまづきポイントがあります。特にアナログ時計に慣れていない子は、2年生の内容の中で最難関單元かもしれません。今週、プリントを持ち帰りますのでぜひご家庭でも復習してみてください。

また、「時刻と時間」は3年生でも学習しますが、やはり苦勞する子が多いので、ぜひ家庭で積極的にアナログ時計に触れさせてあげてください。(経験上、アナログの腕時計が一番学習効果がありました。)

3 三角形ができるかな? (問題) 空欄 形を完成させる

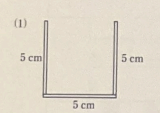
下の(れい)のように、ぼうをたおすと三角形ができます。

(れい)

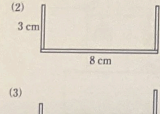


次の(1)～(3)のぼうをたおしたとき、三角形はできますか、できませんか、「できる」「できない」で答えなさい。

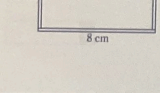
(1)



(2)

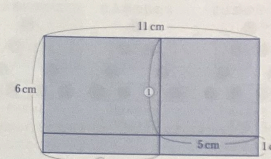


(3)



4 長方形のまわりの長さ (問題) 空欄 形を完成させる

下のよう大きい長方形を小さい長方形4つに分けました。①、②の長さはそれぞれ何cmですか。



今週一人でコースで取り組んだ問題です。
子どもたちは一人で試行錯誤したり、友達と相談したりしながら、楽しそうに取り組んでいました。

問題は「算数ラボ ～考える力のトレーニング～」から取り出しました。
各学年に対応した級があり、家庭でも子どもの実態に合わせて取り組みやすいです。

